

株式会社ダイフク

平成26年3月期

第1四半期決算説明資料

平成25年8月9日

DAIFUKU

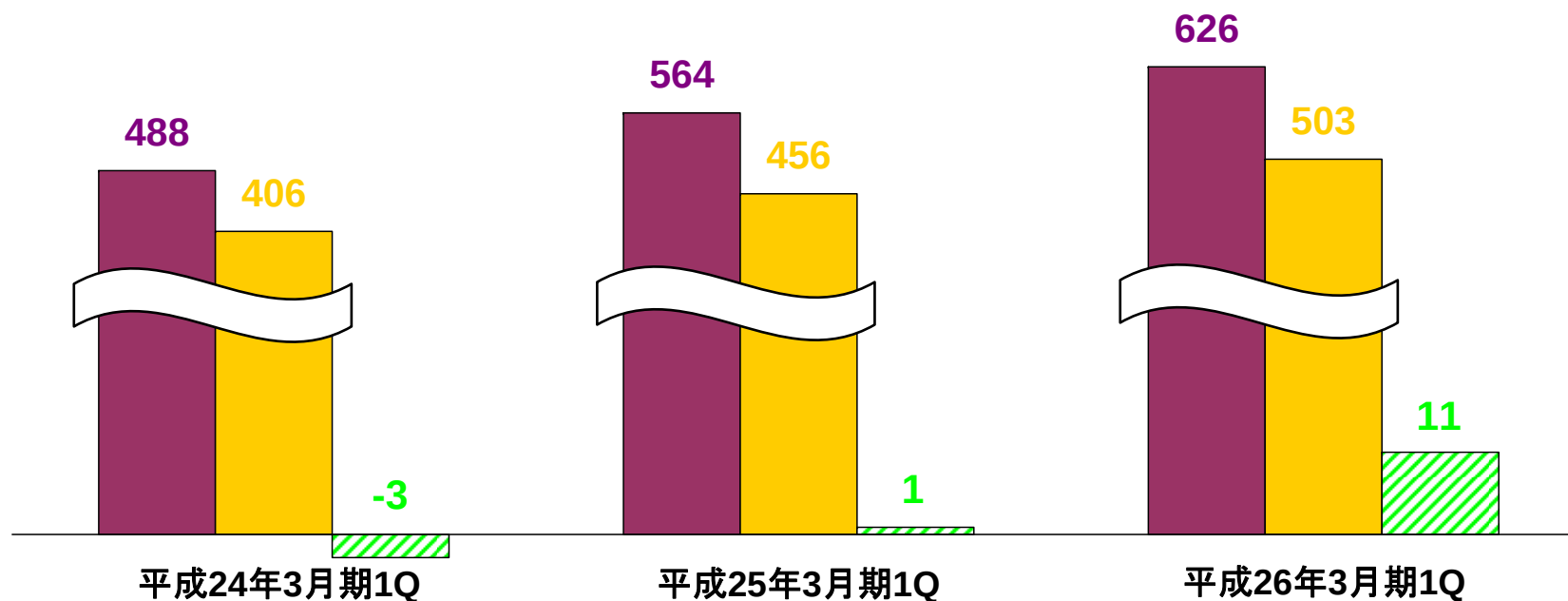
Always an Edge Ahead

- 受注：中国・台湾・韓国的大型案件が寄与
- 売上：豊富な受注残をベースに堅調に推移
- 利益：コスト改善・海外子会社の好業績が寄与

【第1四半期業績推移】

(単位: 億円)

■ 受注高 ■ 売上高 ■ 営業利益



平成26年3月期第1四半期業績(連結)

DAIFUKU

2

(単位: 億円)

	平成26年3月期1Q	前年同期	対前年同期比
受注高	626.8	564.3	11.1%増
売上高	503.6	456.1	10.4%増
営業利益	11.1	1.7	543.7%増
経常利益	14.0	△0.3	14.3億円増益
四半期純利益	9.5	△3.0	12.6億円増益
包括利益	46.7	9.6	385.3%増

1株当たり 四半期純利益	8.65円	△2.75円
-----------------	-------	--------

報告セグメントの業績(第1四半期)

DAIFUKU

3

(単位: 億円)

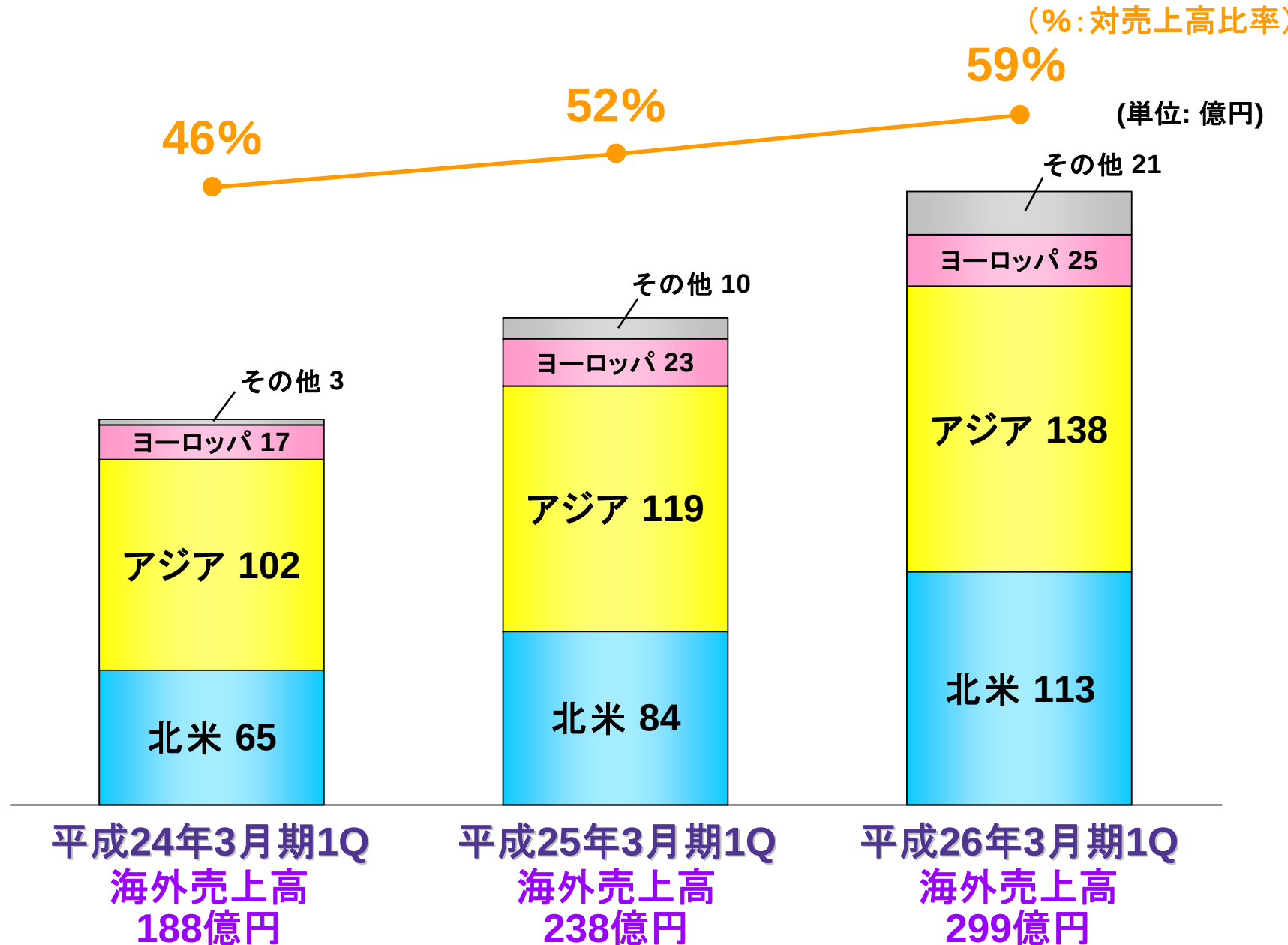
	受注高		売上高 (外部顧客への売上高)		セグメント利益 (四半期純利益)	
	平成26/3期1Q	前年同期	平成26/3期1Q	前年同期	平成26/3期1Q	前年同期
ダイフク	263.0	273.6	246.4	241.8	6.7	△2.1
コンテック	36.5	19.9	26.2	18.2	△1.8	△1.0
DWHC※	111.2	156.7	113.1	71.1	2.2	0.1
その他	216.0	113.9	129.6	113.3	6.9	5.7
連結調整等	-	-	△11.8	11.6	△4.5	△5.7
計(調整後)	626.8	564.3	503.6	456.1	9.5	△3.0

※ DWHC=DAIFUKU WEBB HOLDING COMPANY

海外売上高の推移

DAIFUKU

4



海外地域別売上高

DAIFUKU

5

(単位: 億円)

地区 国名		平成24年3月期1Q		平成25年3月期1Q		平成26年3月期1Q	
		売上高	構成比(%)	売上高	構成比(%)	売上高	構成比(%)
北米		65.3	34.8	84.8	35.6	113.8	38.0
アジア		102.2	54.2	119.6	50.2	138.9	46.4
	中国	37.2	19.8	18.4	7.7	41.4	13.8
	韓国	34.5	18.3	46.0	19.3	37.2	12.4
	台湾	17.1	9.1	28.3	11.9	24.5	8.2
	タイ	5.1	2.7	13.8	5.8	18.4	6.2
	その他	8.3	4.3	13.1	5.5	17.4	5.8
ヨーロッパ		17.4	9.2	23.3	9.9	25.1	8.4
中南米		2.7	1.5	4.3	1.8	18.5	6.2
その他		0.6	0.3	6.0	2.5	2.8	1.0
合計		188.2	100.0	238.0	100.0	299.1	100.0

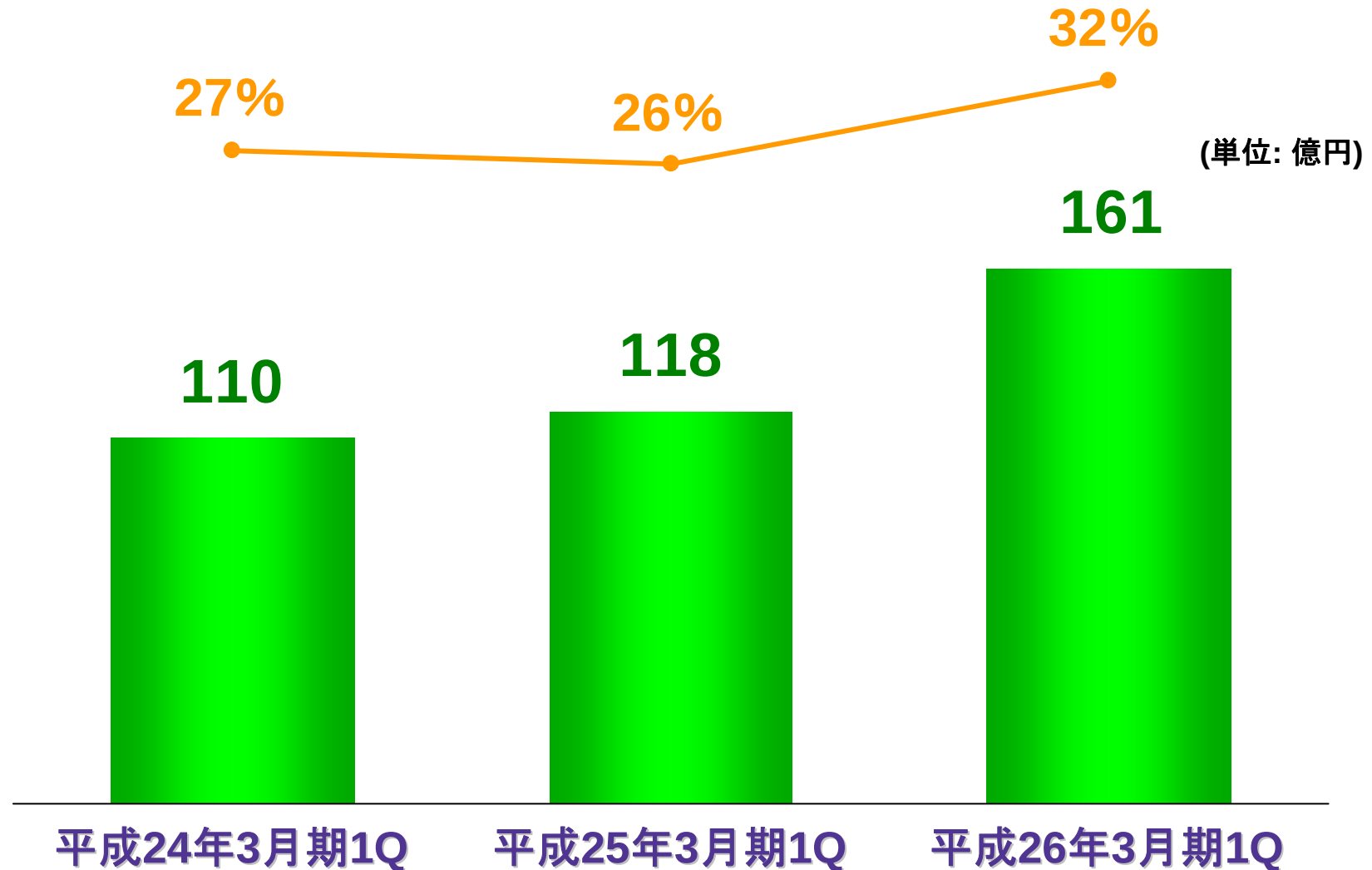
サービス売上高の推移

DAIFUKU

6

※サービス売上高: 納入したシステム・製品を対象にした、保守・メンテナンス、リニューアル、改造工事などによる売上高

(%: 対売上高比率)



受注は商業および小売業、売上は自動車が増加

(単位: 億円)

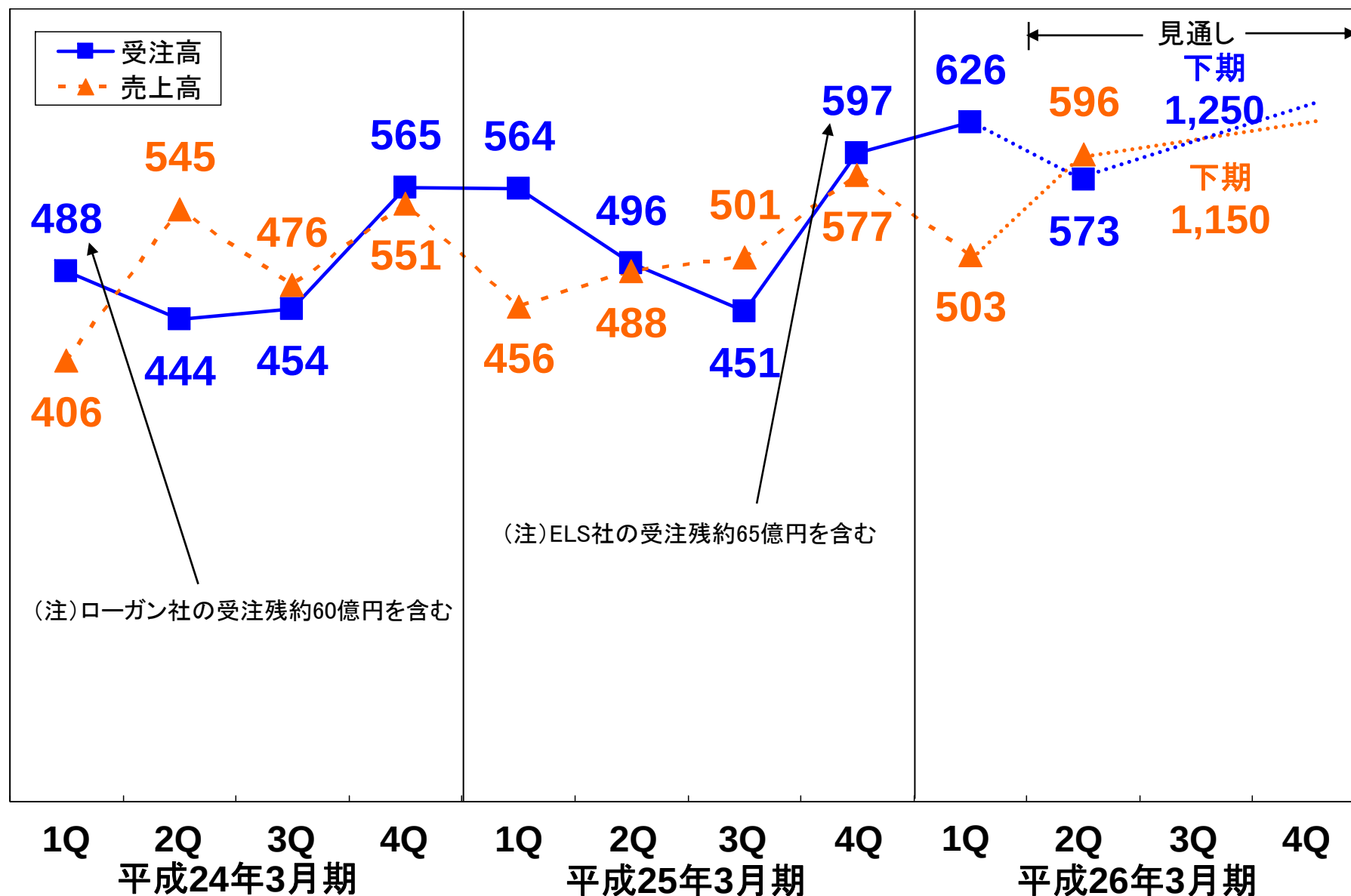
業種	受注高				売上高			
	平成25年3月期1Q		平成26年3月期1Q		平成25年3月期1Q		平成26年3月期1Q	
	受注高	構成比(%)	受注高	構成比(%)	売上高	構成比(%)	売上高	構成比(%)
自動車および自動車部品	180.2	31.9%	147.2	23.5%	104.8	23.0%	148.4	29.5%
エレクトロニクス	143.3	25.4%	103.4	16.5%	128.7	28.2%	104.6	20.8%
商業および小売業	84.8	15.0%	168.8	26.9%	82.9	18.2%	104.9	20.8%
運輸・倉庫	16.4	2.9%	18.1	2.9%	20.0	4.4%	12.1	2.4%
機械	18.7	3.3%	14.5	2.3%	11.7	2.6%	12.3	2.5%
化学・薬品	22.7	4.0%	35.6	5.7%	20.3	4.4%	21.8	4.3%
食品	15.9	2.8%	27.3	4.4%	14.4	3.2%	12.4	2.5%
鉄鋼・非鉄金属	7.6	1.3%	10.3	1.6%	6.4	1.4%	8.9	1.8%
精密機器・印刷・事務機	7.2	1.3%	7.1	1.1%	7.0	1.5%	7.2	1.4%
空港	26.8	4.7%	57.0	9.1%	31.3	6.9%	45.3	9.0%
その他	40.7	7.4%	37.6	6.0%	28.6	6.2%	25.8	5.0%
合計	564.3	100.0%	626.9	100.0%	456.1	100.0%	503.7	100.0%

受注高、売上高の四半期ごとの推移

DAIFUKU

8

(単位: 億円)

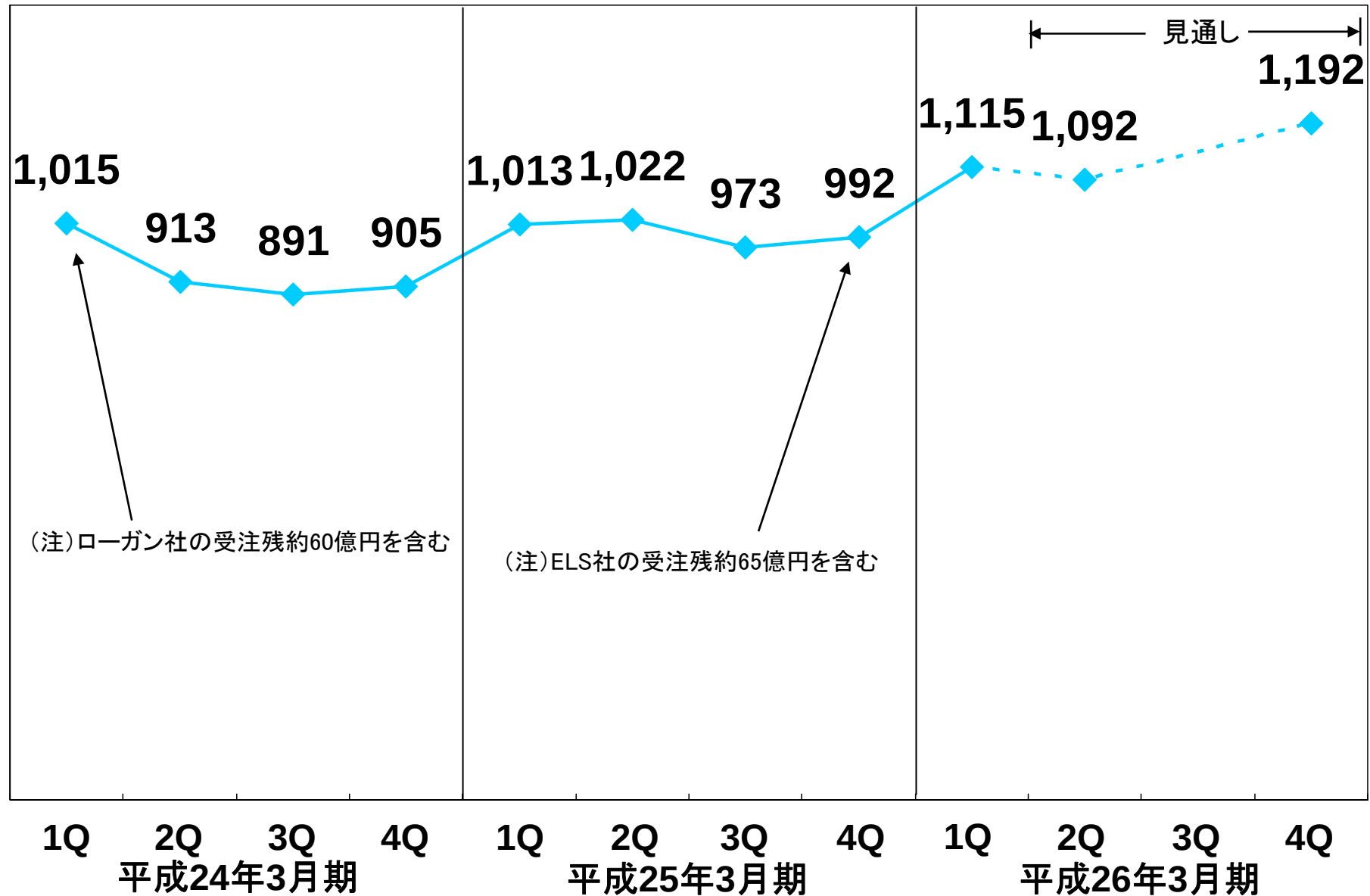


受注残の推移

DAIFUKU

9

(単位: 億円)



平成26年3月期第2四半期業績予想(連結累計)

DAIFUKU

10

(単位: 億円)

5月14日公表

8月9日修正公表

前年同期

対前年同期比

受注高	1,200	1,200	1,060	13.1%増
売上高	1,100	1,100	944	16.5%増
営業利益	25	35	29	19.9%増
経常利益	23	38	24	55.7%増
四半期純利益	14	23	12	81.1%増

平成26年3月期業績予想 (連結)

DAIFUKU

11

(単位: 億円)

	5月14日公表	8月9日修正公表	前年同期	対前年同期比
受注高	2,300	2,450	2,109	16.1%増
売上高	2,250	2,250	2,023	11.2%増
営業利益	85	95	80	18.6%増
経常利益	80	90	79	12.5%増
当期純利益	50	55	44	23.9%増

■ 滋賀事業所における生物多様性保全の取り組み

今年2月から事業所内の生態系調査を進め、多くの在来種を確認。自然共生型の事業所づくりを進める

【滋賀事業所で確認された在来種】



絶滅が危惧される
カスミサンショウウオ



ハヤブサ



日本最小のトンボ
ハッチョウトンボ

将来の見通しに関する注意事項

本資料に記載されている将来の業績に関する目標、信念、計画等は、過去の事実ではなく、最新の情報から判断した経営陣の想定や信念に基づく事業見通しであり、潜在的なリスクや不確定要素を含んでいます。実際の業績は、さまざまな重要要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要要素としては、1) 当社グループの経営環境における消費者動向および経済情勢、2) 米ドルその他の通貨建ての売上・資産・負債に対する円為替レートの影響、3) コスト上昇や販売の抑制につながる安全その他に関する法令等の規制強化、4) 災害・戦争・テロ・ストライキ・疾病等の影響などが含まれます。なお、当社グループの業績に影響を与えうる要素は、これらに限定されるものではありません。